

平成28年

壱岐市議会定例会9月会議

# 行政報告

壱岐市

# 目 次

<b>1. はじめに</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(1) 国境離島新法に係る取組について	1
(2) 小中学生の全国大会等での活躍について	1
(3) 全国離島交流中学生野球大会について	2
(4) NHKラジオ番組「ふるさと自慢うた自慢」の開催について	3
<b>2. 交流人口の拡大</b>	
(1) 国際化推進班の新設について	3
(2) 観光振興について	4
(3) 壱岐ウルトラマラソンについて	6
(4) ふれあい交流事業について	7
(5) 生涯活躍のまち推進プロジェクトについて	7
(6) 福岡市・九州離島広域連携事業について	8
<b>3. 産業の振興</b>	
(1) 農業の振興について	9
(2) 水産業の振興について	10
(3) 商工業の振興と雇用対策について	10
<b>4. 市民</b>	
(1) 第29回全国健康福祉祭ながさき大会について	11
(2) 幼保連携型認定こども園について	12
(3) 介護ロボット導入事業について	12
(4) 予防接種事業について	13
<b>5. 建設</b>	
(1) 道路、河川等の整備について	14
(2) 水道水源の現状について	14
<b>6. 教育</b>	
(1) 芦辺中学校の校舎建設等について	15
<b>7. 防災、消防・救急</b>	
(1) 防災・防犯について	17
(2) 消防・救急について	19
<b>8. 議案説明</b>	
(1) 補正予算について	20
(2) その他の議案について	20
<b>9. おわりに</b> ・・・・・・・・・・・・・・・・	21

# 行 政 報 告

平成 2 8 年 壱 岐 市 議 会 定 例 会 9 月 会 議

## 1. はじめに

本日ここに、平成 2 8 年 壱 岐 市 議 会 定 例 会 9 月 会 議 に あ た り、前会議から本日までの市政の重要事項及び今回、補正予算に計上した主な内容等についてご報告申し上げ、議員皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

### (1) 国境離島新法に係る取組について

これまで、国への施策提案に向けて、市民皆様からのアイデア募集を官民一体となって進めてまいりました。今後は、国の基本方針や県による計画策定に向けて、集められたアイデアを具現化するため、去る 8 月 3 1 日に 壱 岐 市 国 境 離 島 新 法 協 議 会 を 設 立 し ま し た。本協議会は、民間と市議会と市が一体となり、壱岐地域社会を維持するための具体的施策についての協議や、国県への要望活動などを行っていくこととしております。

### (2) 小中学生の全国大会等での活躍について

8 月 2 0 日 に 神 奈 川 県 の 日 産 ス タ ジ ア ム で 開 催 さ れ た 「 第 3 2 回 全 国 小 学 生 陸 上 競 技 交 流 大 会 」 に 長 崎 県 代 表 と し て 出 場 し た 渡 良 小 学 校 の たけした ひろむ 竹下 紘夢 君 が、5 年 男 子 1 0 0 m の 部 に お い て、1 3 秒 4 9 の 好 記 録 で 4 位 入 賞 を 果 た し て お り ま す。また、同大会の共通女子走り幅跳びの部に出場した盈科小学校 6 年生の ながおか ゆきな 長岡 幸奈 さんが、4 m 2 9 c m の 記 録 で 1 7 位 と い う 好 成 績 を 残 し ま し た。

また、8 月 1 0 日 から 1 2 日 に、東京体育館等で開催された「フ

「ファミリーマートカップ第36回全日本バレーボール小学生大会」男女混合の部に出場した三島小学校ジュニアバレーボールクラブは、2次予選で惜しくも敗退しましたが、1次予選を2戦2勝するなど、全国の強豪相手に一步も譲らない活躍を見せてくれました。

さらに、7月2日、3日に大村市で開催された「長崎県スポーツ少年団軟式野球交流大会」で準優勝して、九州大会への出場権を獲得した勝本少年野球クラブが、8月12日、13日に鹿児島市で開催された「第36回九州ブロックスポーツ少年団軟式野球交流大会」において素晴らしい活躍を見せ、決勝戦で熊本県のチームに敗れましたが、見事、準優勝に輝いております。

壱岐の将来を担う子どもたちの健やかな成長は、私の心からの願いであり、今回の全国大会、九州大会での素晴らしい活躍を大変うれしく思うと同時に、この経験が自信へとつながり、自らを成長させる大きな糧となることを期待しています。

### **(3) 全国離島交流中学生野球大会について**

離島球児の夢舞台「国土交通大臣杯第9回全国離島交流中学生野球大会」通称「離島甲子園」が、去る8月22日から25日まで島根県隠岐の島町で開催されました。壱岐市選抜チームは、第1回戦が不戦勝、第2回戦で北海道奥尻島「青苗・奥尻<sup>あおなえ</sup>中学校」に2対1で勝利しましたが、第3回戦で沖縄県「石垣島ぱいーぐるズ」に3対4で惜しくも敗れました。ベスト8に止まりはしましたが、見事なチームワークで素晴らしい試合を行ってくれました。

島外との交流機会が少ない全国の離島の中学生が一堂に会する本

大会に参加した壱岐市選抜チームは、野球を通じた「島」と「島」の交流により、友情を育み、夢と希望と勇気を持つことの大切さを実感できたことと思います。

#### **(4) NHKラジオ番組「ふるさと自慢うた自慢」の開催について**

壱岐の島ホールの落成20周年を記念し、11月25日にNHK長崎放送局及び本市の主権により、同ホールにおいて壱岐の島ホール落成20周年記念NHKラジオ番組「ふるさと自慢うた自慢」を開催します。

ゲストに、歌手の橋<sup>はし</sup>幸<sup>ゆき</sup>夫<sup>お</sup>さんと門<sup>かど</sup>倉<sup>くら</sup>有<sup>ゆ</sup>希<sup>き</sup>さんをお迎えし、地元の男性と女性の各グループがチーム対抗でふるさと自慢を繰り広げるとともに、カラオケで歌を競い合うという番組内容で、ゲスト歌手2人の歌謡ショーもお楽しみいただきます。放送日は未定ですが、全国に壱岐市をPRする絶好の機会でありますので、ご決定いただきましたNHK様に心から感謝申し上げます。観覧申込み等詳細については、既にNHK長崎放送及び壱岐市ホームページで周知しておりますが、後日、広報紙等でもお知らせいたします。

## **2. 交流人口の拡大**

### **(1) 国際化推進班の新設について**

近年、人流・物流・情報が国境を越えて動くグローバル化が世界的に進展し、各国経済の相互依存度が高まる中、我が国においても、外国人観光客や在留外国人数の増加等、グローバル化の波が押し寄

せております。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、今後、外国語教育、国際理解教育、外国との経済・文化交流、地域における国際交流行事など、地域の国際化を推進する必要性が一層高まることが予想されます。本市においても、現在、諸外国との関わりが増えつつあり、外国人居住者や外国人観光客数も徐々に増加しております。

一方で、国際交流行事や市民皆様が外国人と交流する機会が限られており、海外における本市の知名度が低いという現実があります。壱岐は、食、自然、歴史・文化遺産等、豊富な観光資源を有しており、インバウンドの増加によって、壱岐の魅力を世界各国へ拡散してもらえる大きな可能性があるものと考えております。

そのような現状と課題を踏まえ、国際交流業務の受け皿、対外的な業務や対外発信、さらにはグローバル化の漸進的な推進を担う部署を設置することが必要と判断し、9月1日から企画振興部地域振興推進課内に国際化推進班を新設いたしました。

同班は、観光商工課と連携し、インバウンドの強化に関する業務も支援させることとしております。国際化推進班に発令又は兼務発令を受けた職員は、笹原副市長の提案により発足した国際化推進チームのメンバーとなっており、可能な限り国際関連業務に従事させることで、当該分野の人材育成も図っていく所存であります。

## **(2) 観光振興について**

本市における観光客数を推計するうえで参考となる九州郵船とオリエンタルエアブリッジの本年1月から7月末までの乗降客数累計

は、381,295人、対前年比99.6パーセントでありました。4月に発生した熊本地震の影響もあり、5月と6月は対前年比で87パーセント程度まで落ち込みましたが、7月は対前年比で112.4パーセントと急回復しており、今夏の好天もあり、8月の実績を期待しているところです。

JR九州の長崎デスティネーションキャンペーンについては、10月1日に長崎駅と博多駅で開催されるオープニングイベントを皮切りに、12月までの期間で実施されます。県内全市町PRの相乗効果によるキャンペーン期間中の観光客数の増加に期待しております。

10月20日と21日には、本市において、旅行会社の仕入企画造成担当者を対象に年2回開催されている長崎県観光情報説明会が開催されます。関西・中国・四国・九州地区の旅行会社に対し、今回は、平成29年度上期における観光情報説明会となっており、この好機に壱岐の魅力を最大限発信してまいります。

また、新たな取組として、10月8日から9日まで、1泊2日の行程で「サンクチュアリ壱岐」と題したコスプレツアーが実施されます。コスプレイヤーの方々が、「実りの島、壱岐」を訪れ、撮影を楽しんでいただくことにより、壱岐の新たな情報発信に繋がるものと期待しております。

さらに、10月25日にはモンゴル国のビルグーンオンダラガ歌舞団23名による公演を、壱岐の島ホールにて計画しております。今回の公演は、平成26年にモンゴル国と日本の文化交流協定から40周年を迎え、平成27年に元寇に関する撮影が元寇ゆかりの地

である壱岐市をはじめ、日本各地で行われた御縁で今回の公演にいたっております。多くの市民皆様にご来場いただきたいと存じます。

観光施設のイルカパークでございますが、平成7年に開園し22年目を迎えております。イルカパークについては、施設が閉鎖的の海域であることから、平成13年に<sup>しゅんせつ</sup>浚渫工事を実施しておりますが、それから15年経過しており浚渫の必要があることから、今回、浚渫に係る所要の予算を計上しております。

### (3) 壱岐ウルトラマラソンについて

10月2日開催の壱岐ウルトラマラソンの申し込みは、8月26日に応募を締め切り、福岡県235人、長崎県118人をはじめ、北は北海道から南は沖縄まで、35都道府県から100Km385人、50Km230人、計615人の参加が決定しております。ボランティアにつきましては、島外から48人の応募があっており、現在、市内のボランティアの方も募集しております。

また、島内の学生には、小学生に1キロ毎に立てる距離表示の<sup>のぼり</sup>幟に応援メッセージを、中学生には当日の給水所等の運営のお手伝いを、高校生には参加選手への手紙を書いていただき、選手への激励を行うようにしております。

招待選手として、2014年100Kmウルトラマラソン世界選手権第2位で長崎県出身の<sup>もちづき</sup>望月<sup>ちゆき</sup>千幸選手、若い世代に人気の歌手グループであるソナーポケットのeyeron（アイロン）さんに、選手と一緒に走っていただき、大会を盛り上げていただくようにしております。



また、前回ご報告いたしましたレオパレス21様をはじめ、富士ゼロックス様、JTB九州様、大塚製薬様等、多くの企業にもご協賛いただき、様々な面でご支援いただいております。

壱岐全島を舞台としたイベントでありますので、市としても大会の成功に向け万全の体制で取り組んでまいります。関係機関・団体皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

#### **(4) ふれあい交流事業について**

本年も、壱岐市在住の独身者に対して適切な出会いの機会を創出することにより成婚を促し、人口減少に歯止めをかけることを目的として、11月5日から6日にかけて「第4回イキイキお結び大作戦」と題して婚活イベントを計画しております。昨年は男性19人、女性18人の参加で、カップル成立数は14組であり、そのうち1組が東京の女性と成婚にいたっております。今回も、多くのカップルが誕生することを期待しております。

また、市民向けセミナーについては、結婚応援隊向けの内容も計画しておりますので、多くの皆様にご参加いただけるよう周知を図ってまいります。

#### **(5) 生涯活躍のまち推進プロジェクトについて**

元気な中高年齢者の移住を促進することにより人口減少に歯止めをかけ、地域の活性化を図るいわゆるCCRC（生涯活躍のまち）構想ではありますが、本市も壱岐市版生涯活躍のまちの実現を目指すべく、基本指針・実施計画の策定業務に係る費用を地方創生推進交付金に申請してありましたところ、この度採択されましたので今回

所要の予算を計上しております。

今後、関係機関に参画いただいた推進協議会を設立し、本市の方向性を示す基本指針と、実現するための詳細計画を載せた実施計画を、関係者の意見を踏まえ策定するようにしております。

若い世代の移住施策とともに、生涯活躍のまちについても積極的に取り組む所存であります。

#### **(6) 福岡市・九州離島広域連携事業について**

本年3月に発足した福岡市・九州離島連携協議会ではありますが、去る7月18日に福岡市天神の岩田屋前広場においてキックオフイベントを実施し、本格的に事業を開始しております。

「離島」という字は「離れる」「島」と書き、寂しい感じがいたします。これを離れる島の「離島」から、訪れた人がR e - f r e s h (元気を回復する)、島に人がR e - t u r n (帰ってくる)、新しい島の未来がR e - b o r n (生まれ変わる)の「R e 島」を合い言葉に「R e 島プロジェクト」として事業を実施しており、早速「R e 島チャンネル」というホームページを立ち上げ、福岡を起点とした各島への旅行商品の販売を開始しております。

また、「R e 島ムービー」として各島の「人」に着目した宣伝用映像を作成しましたところ、大変好評を得ております。

今後は、各種メディアとタイアップしたPR事業や海外向け広報等も実施することとしております。

### 3. 産業の振興

#### (1) 農業の振興について

今年、平年より1日早い梅雨明けとなり、7月14日から8月27日まで45日間ほとんど降雨が無く、農業用ダム・ため池については、貯水率が54.1%となっておりましたが、8月28日から29日にかけて100ミリ程の降雨があり、貯水率も改善し、ひとまず安心しております。

昨日発生した台風12号については、雨の欲しい時期ではありませんが、農作物や施設への影響を心配しており、十分注意を払っていただきたいと考えております。

こうした中、本年産の葉たばこは、成熟期の天候不順による立ち枯れ病、一部の圃場における原因不明の生育不良等により、10アール当たり210kgの収量見込みと伺っており、10月に葉たばこ収納が予定されております。

水稲については、早期水稲は大きな病虫害被害等も無く、昨年と同程度の収量が見込まれております。普通期水稲は農業用ダム・ため池が十分な貯水率まで回復しておらず、水不足による被害が心配されますので、関係機関連携して管理指導等を行ってまいります。

肉用牛については、去る8月1日、2日に開催された子牛市において、子牛取引価格が市場開設以来の高値を記録しております。平均価格が6月市と比較し、1頭当たり約1万円高の83万3千円となっており、併せて去勢の平均価格についても市場開設以来の高値を記録しております。しかしながら、高齢化・後継者不足等による

繁殖牛の飼養頭数が減少しておりますので、今後も産地維持のため、繁殖基盤の強化に努めてまいります。

7月発生の農地及び施設災害については、10月3日から7日に査定が行われるようになっておりますので、査定後、早急に事務手続きを進め、復旧工事に着手してまいります。

## **(2) 水産業の振興について**

本年4月から7月までの本市の漁獲量及び漁獲高を昨年と比較いたしますと、漁獲量は、1,124トンで15.7%の減、漁獲高は、9億6千8百万円で17.5%の減となっております。

また、正組合員数は、昨年より30名減の987名となっております。漁獲量、漁獲高ともに減少しており、漁家経営は大変厳しい状況が続いておりますが、水産業の振興を図るため、今後も漁業者の皆様、そして、各漁協をはじめ関係機関と連携を図り、各種施策に積極的に取り組んでまいります。

今回、県営事業による芦辺漁港、大島漁港、郷ノ浦港、勝本港、印通寺港の整備・改修工事に係る負担金について、所要の予算を計上しております。

## **(3) 商工業の振興と雇用対策について**

7月21日に、昨年に引き続きハローワーク及び県との合同で、高校2、3年生を対象に、卒業後の進路選択の参考と、地元就職を促進することを目的として、合同企業説明会を開催いたしました。昨年は市内5社の企業の参加でありましたが、本年は、市内9社の企業、生徒32名、保護者17名、合わせて90名の参加があり、

第1部では各企業からの説明、第2部では各企業ブースにそれぞれ移動し、説明・質疑が行われたところでもあります。生徒皆さんからは、企業の内容や生の声が聞けて良かった、保護者皆様からは、今後も続けてもらいたい等の要望もあり、本事業を引き続き実施するとともに、企業への支援等を含め、雇用の確保に全力で取り組んでまいります。

7月30日には、株式会社レオパレス21の壱岐サービスセンターの開所式があり、新たに22名の方が雇用されております。平成19年度に壱岐コールセンターを開設、そして、今回の新たなセンター開設をいただき、雇用促進に多大なご貢献をいただいております。

しま共通地域通貨事業「しまとく通貨」については、10月までは旅行商品に組み込まれるバラ券のみとなっておりますが、11月からはセット券の販売も開始されます。また、10月から電子化されるようになっており、より利便性が高まるものと期待しております。

## 4. 市民

### (1) 第29回全国健康福祉祭ながさき大会について

ねんりんピックの通称で親しまれている全国健康福祉祭が、本年10月15日から18日までの4日間、長崎県内15カ所で開催されます。壱岐市においては、ウォークラリー交流大会の開催地となっており、10月15日に代表者会議及び開始式、翌16日に交流

大会を原の辻遺跡をメインとしたコースで開催します。高齢者の部については、全国から40チーム、200名の参加が決定しております。一般の部については、20チーム、100名程度を予定し、9月15日を申込期限に募集しておりますが、現在5チームの申込に止まっておりますので、老人クラブや各種団体に要請し、参加者の確保に努めております。

また、運営にあたっては、関係機関や団体の協力はもちろん、市内の中学生による高齢者の部チームのアテンダーや高校生によるドリンクサービス、各小学校の児童による激励ポスターの作成などの協力もいただき、壱岐市をあげて全国からの参加者をおもてなしの心で温かくお迎えしてまいります。

## **(2) 幼保連携型認定こども園について**

幼児教育の質の向上と量の確保を図るとともに、効率的な施設運営を行うため、石田町へ幼保連携型認定こども園を設立いたします。

計画では、予定地を石田保育所の南側にある、現テニスコートとしており、石田保育所は保育部分を現行のまま運営し、幼稚園部分を新設するため、敷地整備のための設計及び工事を行うこととしております。

また、本整備工事に伴い、テニスコートを石田中学校校舎裏に移転整備することとしており、今回、所要の予算を計上しております。

## **(3) 介護ロボット導入事業について**

本市においては、3人に1人が高齢者という状況の中で、介護保険事業は制度発足時から比較すると、介護サービス利用者で1.5

倍、サービスに係る費用額で1.7倍の伸びとなっており、今後、介護従業者の確保と定着を図る取組が急務となっております。

このような状況の中、本事業は、国庫補助事業を活用した介護ロボット（見守り支援ベッドシステム）を市内の介護老人保健施設において導入し、介護従業者の負担の軽減を図るとともに、市内における活用実証モデルとして他の介護サービス事業者への周知と働きやすい職場環境を整備し、介護従業者の確保を図る目的で実施するものであり、今回、所要の予算を計上しております。

#### **（４）予防接種事業について**

B型肝炎については、少数ながら小児における水平感染や集団感染が報告されていること等から、予防接種によって人から人への感染機会を減らすことを目的に予防接種施行令等の改正が行われ、本年10月から定期予防接種（A類疾病）の対象疾患に追加されたところであります。

対象者については、平成28年4月以降に出生した者で生後1歳に至るまでの間にあるものとなっております。予防接種を行うことで、伝染の恐れのある疾病の発生及び重症化の防止、さらにはその蔓延を防ぐことで公衆衛生の向上や増進に寄与するものであり、壱岐医師会のご協力を得て10月1日から実施するため、今回、所要の予算を計上しております。

## 5. 建設

### (1) 道路、河川等の整備について

市道整備について、6月補正において、道路整備工事に必要な予算を計上いたしました。さらなる経済対策の一環として、市道の維持補修工事、及び単独で行っている市道の改良工事等の早期完成を図るため、今回、所要の予算を計上しております。

### (2) 水道水源の現状について

梅雨明け後、雨量計で確認するほどの降雨が無い状況が続いておりましたが、8月28日にようやく恵の雨が降りました。水道水源のダム貯水率は、8月末現在、平均して概ね87%であり、今のところ余裕がございます。これは、梅雨時期に昨年の約1.3倍の雨が降り込んだことが幸いしているものと考えております。

また、夏場の猛暑続きで藻類の発生を心配しておりましたが、貯水量に余裕があることなどから、例年になく少ない現状であります。

平成25年7月に芦辺地区、また、平成26年7月に沼津柳田地区の給水区域で発生した異臭味の対策については、平成26年度に芦辺浄水場、平成27年度に郷ノ浦浄水場に生物活性炭処理設備を導入し、臭気物質の除去対策を行ってまいりました。

今年も、高温少雨傾向が続いておりますが、異臭味の被害は無く、活性炭処理設備導入の効果が現れていると捉えております。

今後も、水道水の安定した供給に鋭意努めてまいりますので、市民皆様の大切な水源として、節水へのご協力をお願いいたします。



## 6. 教育

### (1) 芦辺中学校の校舎建設等について

芦辺中学校の校舎建て替え用地については、先の6月会議でご報告しておりましたが、より安全で安心して学べる教育環境の視点で、改めて建設予定地の見直しを含めた検討に入ることを教育委員会から報告を受けたところであります。

教育委員会において、芦辺町内の小中学校のPTA・保護者・地域の代表32名による校舎建て替え用地選定委員会を設置するとともに、7月5日から8日にかけて、芦辺町内の小中学校7校で説明会を行い、併せてアンケートを実施しております。

7月26日に開催した校舎建て替え用地選定委員会では、アンケート結果を基に審議され、用地については、旧那賀中学校とする考えにまとまりました。この審議結果の報告書が、翌27日に教育委員会に提出されましたので、教育委員会は直ちに会議を開き、協議結果が報告されました。その内容については、既にお知らせしておりますが、校舎建て替え用地は旧那賀中学校とすること、校舎の建設についての検討事項が付記されていたことはご承知のとおりであり、本事業の進め方について、現在、教育委員会と協議を進めております。

旧那賀中学校は、閉校後6年近くになり、普通教室や特別教室等の教材設備の利用停止や利活用のため一部撤去している実情があります。また、普通教室が4教室不足するため、校舎の増築が必要となりますが、増築のための校地の広さも十分とは言えず、増築した

場合は、教室の配置が窮屈になるなど、学習環境には不安が残ります。

このように、校舎の改修を含めた耐震補強工事と増築工事では、生徒たちにとって、よりよい教育環境とは言い難い課題も抱えています。生徒たちの学習環境を充実させることを第一義に考え、本事業における校舎の建て替えについては、現校舎を解体・撤去し、校舎を新築することにより不足する教室数は確保され、教育環境も整備されると判断しております。

議員皆様をはじめ、市民皆様のご理解を賜りますようお願いいたします。

さて、先の議会においても議論となっておりました、壱岐市立小・中学校消防用設備改修工事にかかる入札執行事務、並びに壱岐市立芦辺小学校校舎改築工事設計業務にかかる完成払支出負担行為等事務について、その不適正な事務処理により、公共工事に対する信用の失墜と、市民及び学校、議会運営に多大な混乱と影響を及ぼしたことに對しまして、市民皆様に心からお詫び申し上げます。

今回の件に係る関係職員の処分につきましては、地方公務員法の規定に基づく懲戒処分として、担当係長を減給10分の1の1カ月、当時の課長補佐及び担当課長を減給10分の1の3カ月、教育次長を減給10分の1の2カ月、教育長を減給10分の1の3カ月とする処分決定がなされ、本日付けで処分書の交付を行っております。

処分量定の判断につきましては、それぞれの事案について個別に審査し、消防用設備改修工事の入札執行事務について減給10分の

1の1カ月、芦辺小学校校舎改築工事設計業務について減給10分の1の2カ月として、事務の不適正処理及び管理監督責任に対して、それぞれの職務職責により判断し、決定しております。

なお、教育長の給料月額は条例で規定されておりますので、その処分の効力を実施させるため、今回、教育長の給与の特例に関する条例の制定について、議案を提出しております。

このような事案が発生したことに、重ね重ねお詫び申し上げますとともに、今後は市民皆様の信頼を回復するため、再発防止に全力で取り組んでまいります。

## **7. 防災、消防・救急**

### **(1) 防災・防犯について**

7月12日から13日にかけて発生した大雨は、1時間雨量最大で約35ミリ、降り始めからの総雨量は175ミリを記録しました。気象庁と県が発表する土砂災害警戒情報等をもとに、勝本町全域と郷ノ浦町沼津地区に避難勧告を発令し、4カ所の避難所に7世帯10名の方が避難されました。今回の避難勧告は、壱岐市で初の発令となりましたが、異常と言える天候が続発している近年の気象状況からすると、今後も大雨等が起きる可能性が高いと考えられます。

市民皆様には、避難勧告等が発令されてから慌てることのないように、日頃から自宅の立地状況や危険個所、避難場所の確認等をお願いいたします。

なお、今回の大雨により、道路災害22件、河川災害2件、林地

災害28件、農地災害111カ所が発生しておりますが、幸い、人的被害は発生しておりません。今後も、各関係機関と十分連携を図り、災害対策に万全を期してまいります。

また、壱岐市社会福祉協議会と「災害発生時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を、8月1日に締結しております。福祉避難所とは、特別な配慮が必要な高齢者や障がい者の方々への体制を整備した避難所のことであり、今後、災害時には必要に応じて、壱岐市社会福祉協議会の各事業所に福祉避難所を設置していただくこととなります。

10月10日には、平成28年度長崎県原子力防災訓練が、本市を含めた県内4市と長崎県、佐賀県、福岡県の3県合同で開催されます。玄海原子力発電所での放射能漏れ事故を想定し、情報収集伝達訓練、災害対策本部設置・運営訓練、緊急時モニタリング訓練、原子力災害医療訓練、広報訓練、住民の避難・誘導訓練、島外への広域避難訓練などを実施する予定となっております。このような実践的な訓練を積み重ねながら、原子力防災対策に関係機関とも連携して取り組んでまいります。

市民皆様におかれましては、あらゆる災害へ自らの備えを行っていただきますとともに、地域における防災力の向上に向け、自主防災組織の結成や育成等について、今後ご理解を賜りますようお願いいたします。

次に、防犯についてですが、特殊詐欺、いわゆる「振り込め詐欺」等による被害は、全国、県内とも甚大なものとなっております、本市に

においても、平成26年に1件1千万円、平成27年は3件3百万円の被害が発生しています。

また、特殊詐欺の予兆電話も多発しており、高齢者を狙った悪質な犯罪が急増している状況です。このような中、昨年度から壱岐警察署において、電話の発信者に対して通話内容を録音する旨の警告を流す、特殊詐欺被害防止装置100台を貸し出して、被害の防止を図っています。この装置は警察に返却しなければなりません、使用した高齢者の7割が継続して設置を希望しているとのことです。

今後、特殊詐欺被害防止装置の普及による詐欺被害の防止とともに、住民の防犯に対する意識高揚を図るため、特殊被害防止対策危機購入費の補助制度を創設することにしております。

## **(2) 消防・救急について**

今夏は全国的な猛暑となり、市内では、8月末現在、24名の熱中症による患者を救急搬送しております。今後も、残暑が厳しいことが予想されますので、市民皆様におかれては、こまめな水分補給を行うなど体調管理に十分留意していただきますようお願いいたします。

去る8月7日に大村市の長崎県消防学校で開催された「第33回長崎県消防ポンプ操法大会」において、ポンプ車の部で芦辺地区第1分団が県大会11連覇を達成、小型ポンプの部で郷ノ浦地区第7分団2部が準優勝の栄に輝きました。これまで、ご支援、ご声援いただいた議員各位、市民皆様に厚く御礼申し上げます。

9月9日の「救急の日」には、壱岐医師会をはじめ、救急医療機関のご協力を得て、救急訓練を実施し、救急医療関係者の連携強化及び意識の高揚を図ってまいります。

## 8. 議案説明

次に、議案関係についてご説明いたします。

### (1) 補正予算について

本議会に提出した補正予算の概要は、

一般会計補正総額 5億8,497万円

各特別会計の補正総額 1億290万5千円

となり、本定例会に提出いたしました一般会計、各特別会計の補正額の合計は、

6億8,787万5千円

となります。なお、現計予算と合算した本年度の一般会計予算は、

238億276万1千円

で、特別会計については、

110億2,555万8千円

となっております。

### (2) その他の議案について

本日提出いたしました案件の概要は、平成27年度各出資法人の経営状況等に係る報告4件、平成27年度財政健全化判断比率等の報告1件、条例の制定・廃止に係る案件2件、あらたに生じた土地の確認等の案件1件、予算案件6件、平成27年度各会計決算認定10件であります。

案件の詳細については、担当部長、課長等から説明をさせますの

でご了承願います。

何とぞ十分なご審議をいただき、適正なるご判断を賜りますようお願い申し上げます。

## 9. おわりに

以上をもちまして、前会議以降の市政の重要事項また政策等について申し述べましたが、様々な行政課題に対し、今後も誠心誠意、全力で取り組んでまいる所存でありますので、議員各位並びに市民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年9月2日

壱岐市長 白川博一